

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		手話通訳者派遣				所管	福祉部 障害福祉課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]							
		[小 柱]							
		[施 策]							
	根拠法令等	法令(義務)	[法令等名]	障害者総合支援法 台東区障害者地域生活支援事業実施要綱			[事業開始]	昭和 6 0 年度	
	事業対象	区内在住在勤の聴覚・音声・言語障害の身体障害者手帳を交付された者及びそれらを構成員とする団体。							
	事業目的	聴覚障害者に手話通訳者又は要約筆記者を派遣し、社会生活上必要なコミュニケーションを円滑に行うことができるようにする。							
	事業内容	申請に基づき、社会生活上必要と認められる場合に、区の登録手話通訳者を派遣する。派遣は2時間までを1単位とし、2時間を超える場合は1時間ごとに半単位とし、報償費として支払う。要約筆記派遣や高度な専門知識・技術を必要とする手話通訳者派遣の場合は、社会福祉法人東京聴覚障害者福祉事業協会へ委託して行う。また、区の登録手話通訳者の資質向上のため、研修会を実施している。							
委託の有無	一部委託	委託内容	要約筆記者派遣、高度な専門知識・技術を必要とする手話通訳者派遣、手話通訳者研修会の一部及び健康診断を委託。						
補助金の有無	国・都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	派遣した延単位数 (単位)		822	601	702	762		
		一人あたり利用件数 (件)		22	23	22	21		
	決算額 (単位：千円)				3,115	3,613	3,993		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			4,050	3,749	5,113		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			821	983	1,213		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			2,294	2,631	2,781		
		総経費			7,165	7,363	9,107		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			1,592	1,711	1,949		
一般財源 (区負担額)			5,573	5,652	7,158				
前年度から改善した事項	毎週水曜日の窓口待機通訳配置について、通訳利用実績のある聴覚障害者へ再度郵送で周知し、区役所内の手続き等における利便性向上を図った。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	聴覚障害者からの手話通訳派遣の依頼は、年々増加しており、今後もニーズの増加が見込まれる。						
	効率性	3	複数箇所や長時間にわたる派遣依頼は、通訳者に負担のない範囲で、内容・時間に応じて派遣人数を調整している。						
	手段の適切性	3	通常の派遣依頼は、区の手話通訳者で対応し、高度な専門知識・技術を必要とする派遣依頼に対しては、東京都聴覚障害者福祉事業協会へ委託している。依頼内容に応じて対応を変えている。						
	目的達成度	3	聴覚障害者へ派遣制度の周知に努めていることにより、申請件数とともに、利用者数も増加傾向である。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性		
聴覚障害者が社会生活を送る上で、必要不可欠な事業である。							維持		
							拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		